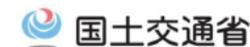


広島市地域公共交通計画の改定について

地域公共交通計画とは

地域交通法に基づく地域交通ネットワークの形成



地域交通法

地域の主体的な取組等によって「地域旅客運送サービスの持続可能な確保に資する地域公共交通の活性化及び再生」を推進するため、**地域公共交通計画の作成**やこれに基づき実施する事業等について定める。（平成19年制定）

地域公共交通計画

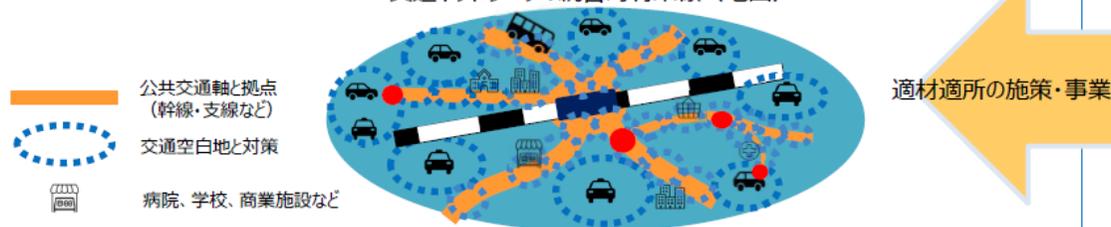
モード横断で望ましい地域交通ネットワークの姿を明らかにする**地域公共交通のマスタープラン**

- ・ **全ての地方公共団体**に対して**作成の努力義務** ※計画作成数：1,184件（2025年3月末時点）
- ・ 地方公共団体が組織する「**法定協議会**」において、住民や交通事業者等地域の関係者による協議（関係者には応諾義務）により作成 = **地域が自らデザインする交通へ**

計画のポイント

- ◆ 住民・市民との双方向コミュニケーションを通じた「**地域の将来像**」の共有
- ◆ 地域全体を見渡し、多様な**地域旅客運送サービス**の持続可能な提供の確保
- ◆ まちづくり・観光振興等の地域戦略との一体性の確保
- ◆ 利用者数、収支など定量的な目標設定と毎年度の評価・分析等（努力義務）

交通ネットワークの統合的将来像（地図）



地域旅客運送サービス



地域公共交通特定事業

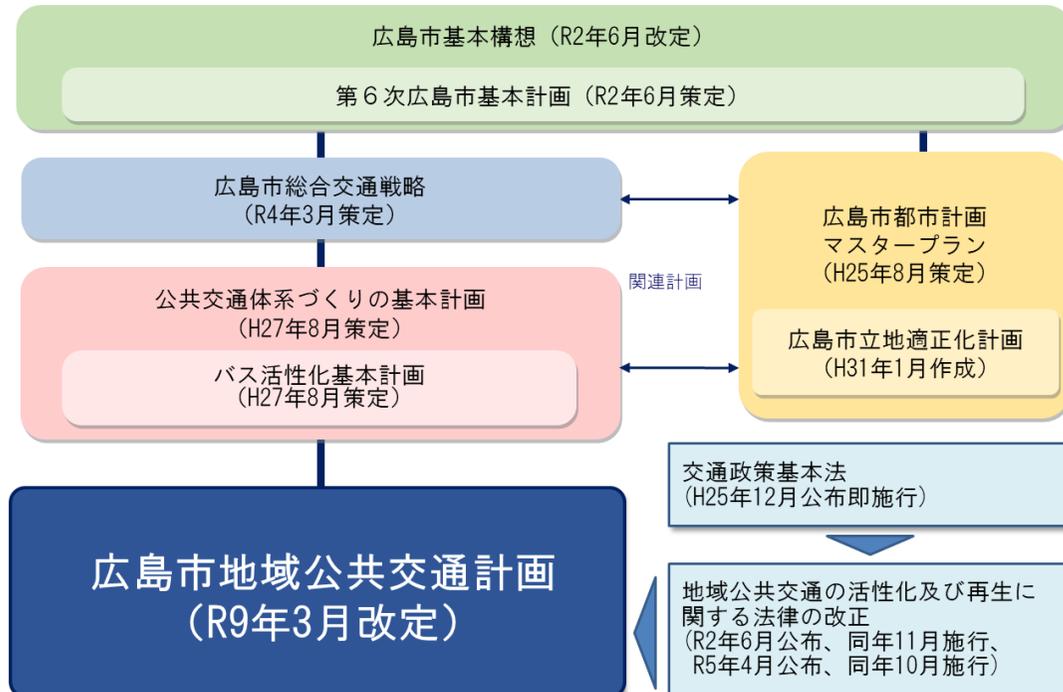
- ・ 地域の実情に応じた取組の実施を円滑化するため、地域公共交通計画に**地域公共交通特定事業**を盛り込み、実施計画を定める
- ・ **予算上の措置**（地域公共交通確保維持改善事業等）や**法律上のワンストップ特例**（許認可手続の一元化）などの特例措置

広島市地域公共交通計画の改定について

- 広島市のまちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通を構築するためのマスタープラン
- 現行計画が令和8年度末で計画期間を終了するため、令和9年3月に改定を実施

計画の位置付け

上位計画である「広島市総合交通戦略」等や関連計画である「広島市都市計画マスタープラン」等を踏まえ、目指すべき公共交通体系と、それを実現するための施策を盛り込む。



対象とする地域

広島市全域

なお、広島広域都市圏内における公共交通網の充実・強化の観点から、周辺市町との連携を図ることとする。

対象とする公共交通

JR在来線、アストラムライン、広電宮島線、路面電車、乗合バス、乗合タクシー、乗用タクシー、船舶
なお、地域住民等の移動手段確保の観点から、公共ライドシェアやシェアモビリティ、施設送迎車両など、公共交通を補完する他の交通手段との連携を図ることとする。

計画期間

5年間(令和9年度～令和13年度) 3

地域公共交通計画の改定において踏まえるべき方針等

- 広島市地域公共交通計画の改定に当たっては、本市の上位計画や関連計画に加え、近年の国のガイダンスや本市の方針を踏まえる必要がある。

① 国のガイダンス

「地域公共交通計画のアップデートガイダンスVer1.0」(令和7年3月公表)



地域交通の持続的な発展に向けて、多様な関係者が共通の目標を掲げ、連携しながら継続的に地域交通のリ・デザイン、「交通空白」の解消に取り組んでいくために、モビリティデータを活用した地域公共交通計画のアップデートを推進

② 本市の方針

「広島型公共交通システム」の構築



交通事業者や行政を始めとした関係者が、交通モードや事業者間の垣根を越えて、地域や他分野(観光・福祉・教育・医療など)を含めて「**協調**」し、公共交通全体においてシームレスで、わかりやすく使いやすい持続可能なサービスを「**共創**」していく。

地域公共交通計画の改定に係る国のガイダンス

- 令和7年3月に、地域公共交通計画の立案等に当たってのモビリティデータの活用方法等を紹介した「**地域公共交通計画のアップデートガイダンスVer1.0**」が公表された。

概要

地域公共交通計画の作成等に取り組む地方公共団体の職員等が、計画の意義やアップデートの進め方を理解して実践できるようにするための支援を目的に、モビリティデータを活用した現状診断やKPI設定等の手法を解説

ポイント

- 計画のスリム化、アクションプラン部分の充実
- 仮説検証型のデータを活用した現状診断
- 定期的なモニタリングの実施、KPIのアップデート



ポイントを踏まえた地域公共交通計画の改定(アップデート化)

広島市地域公共交通計画の基本構成(目次)の見直し

現行計画

(頁数)

地域公共交通計画本体	はじめに	1 目的 2 計画の位置付け 3 対象とする地域 4 対象とする公共交通 5 計画期間	2	マスタープラン	
	1-1 公共交通を取り巻く現状と課題	1 広島市の概況 2 社会経済情勢等の変化 3 移動実態及び公共交通の現状 4 公共交通の課題	31		
	1-2 公共交通体系づくりの考え方	1 公共交通体系づくりの基本方針と目標 2 目指すべき公共交通ネットワーク	15		
	2-1 機能強化策	1 バスネットワークの再構築 2 鉄軌道系ネットワークの機能強化 3 タクシーの機能強化 4 船舶の機能強化 5 交通結節点等の機能強化 6 公共交通サービスの向上 7 機能強化策一覧 8 地域公共交通確保維持事業の補助対象路線等一覧	29		アクションプラン
	2-2 評価指標の設定と評価体制	1 評価指標 2 計画の評価、検証及び見直しの体制と各主体の役割	3		
	参考資料	計画策定までの主な経緯	2		

計 **84**

次期計画

(頁数)

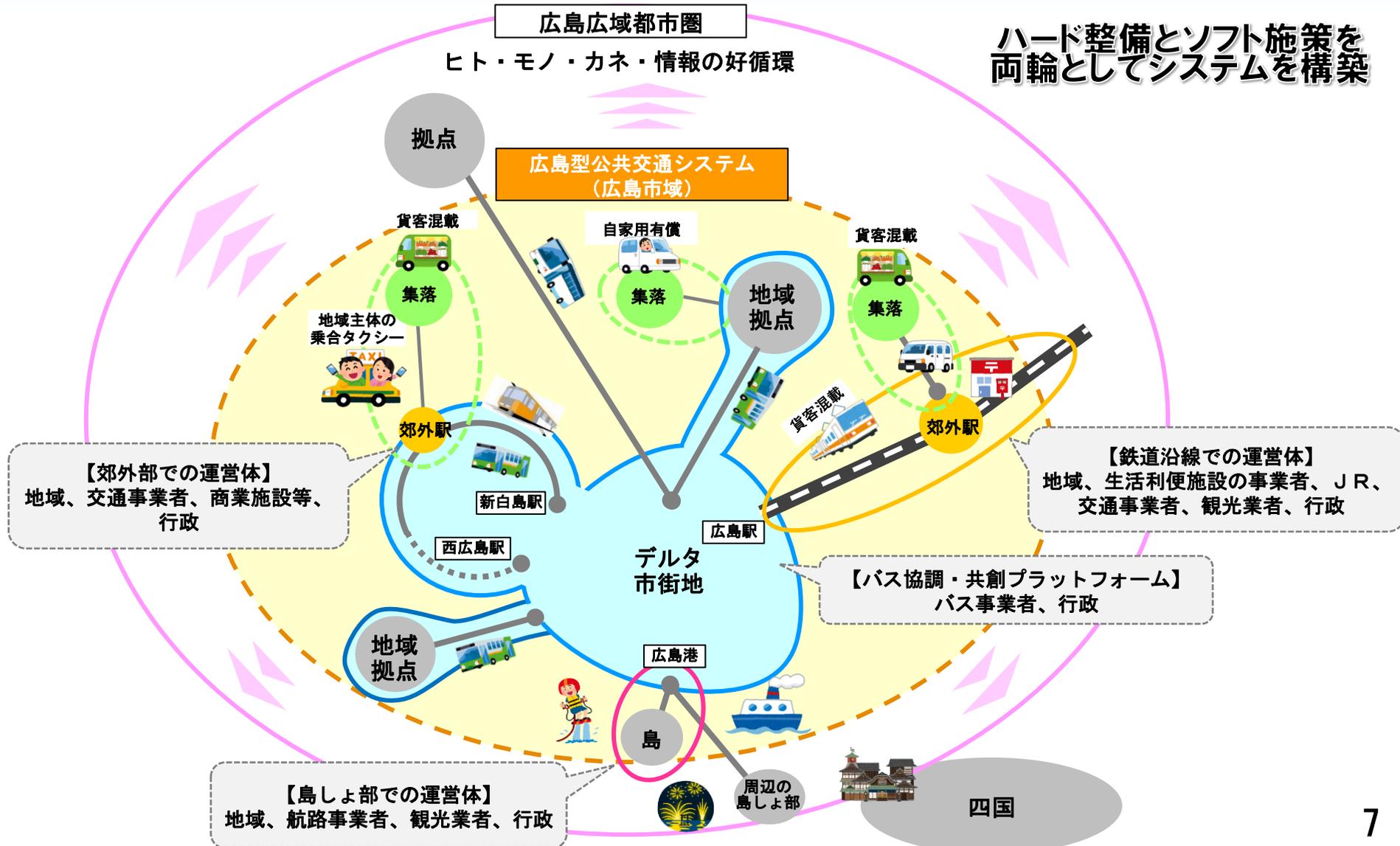
地域公共交通計画本体	はじめに	1 目的 2 計画の位置付け 3 対象とする地域 4 対象とする公共交通 5 計画期間	2	マスタープラン
	1 基本的な方針	1 課題整理の結果 2 地域公共交通が目指す姿 3 計画目標	5	
	2-1 具体的な取組	目標を達成するための具体的な取組 (・取組内容 ・実施主体 ・実施スケジュール)	32	アクションプラン
	2-2 評価指標の設定と評価体制	1 評価指標 2 評価体制・評価スケジュール	3	

計 **42**

別冊 資料編	データ集	広島市の概況 社会経済情勢等の変化 移動実態及び公共交通の現状	未定
	参考	計画策定までの主な経緯 など	未定

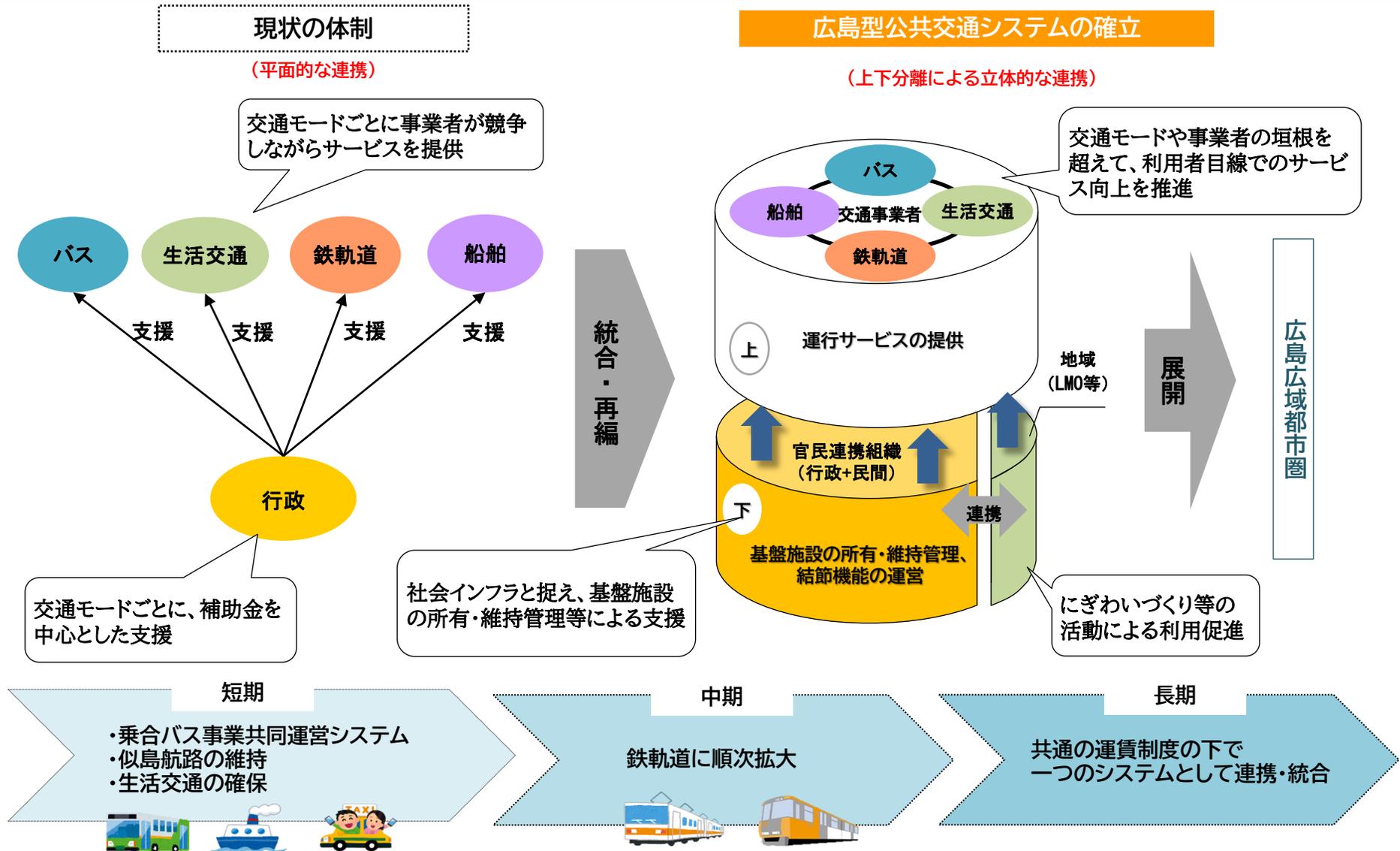
広島型公共交通システムの構築

広島型公共交通システムの全体像



広島型公共交通システムの構築

広島型公共交通システムの運営体制イメージ



広島型公共交通システムの構築

乗合バス事業の共同運営システムについて

地域公共交通活性化協議会
(バス事業分科会)

公平・中立な第三者機関

- ・ 目標とするサービス水準の設定
- ・ 運行等改善計画の承認
- ・ 取組状況の評価

承認・評価

提案・報告

バス事業者8社

運行サービスの提供

- ・ 事業者間の協調による利用者目線でのサービス向上
- ・ 収支改善による経営安定化

運営負担金

バス事業全体を
下支え

(一社)バス協調・共創プラットフォームひろしま



わかりやすく使いやすい交通を実現し、広島の未来に積極的に貢献

戦略1 利用者目線での徹底した利便性向上



- ・ バス停の集約とストリート化、待合環境整備、案内サインの見直し
- ・ 定時性、速達性の向上 など

戦略2 潜在的あるいは新たな移動需要の掘り起こしと利用促進



- ・ ゾーン運賃やダイナミックプライシング等の新たな運賃制度の導入や乗継割引の拡充 など

戦略3 需要に応じたサービスを安定的に供給できる持続可能なバスネットワークの構築



- ・ バス事業者間や他の交通モードとの連携による全体最適化
- ・ バス事業者間での乗降者数等のデータの共有及び継続的な活用

戦略4 運転手の安定的確保やリソースの共有等による経営の安定化



- ・ 即戦力人材確保のため、国等と連携した情報発信やイベント開催
- ・ EVバス車両等の共同利用や、燃料等の共同調達などによる経営効率化

戦略5 利用者のコミュニケーションの強化による信頼関係の構築



- ・ 積極的に利用者ニーズを収集し、バスサービスの改善に活用
- ・ バス停、車両とのデザイン性向上などによるブランディングの強化

戦略6 将来を見据えた新技術等の導入と災害時等におけるレジリエントなシステムの構築



- ・ デジタル技術を活用した業務プロセスの改善
- ・ 平時から不測の事態を想定したバス事業者間の強固な協力体制の確立

広島市

法人の運営を支援

共同事業への財政支援

社会資本整備総合交付金等の国の支援メニューを最大限活用

運営負担金

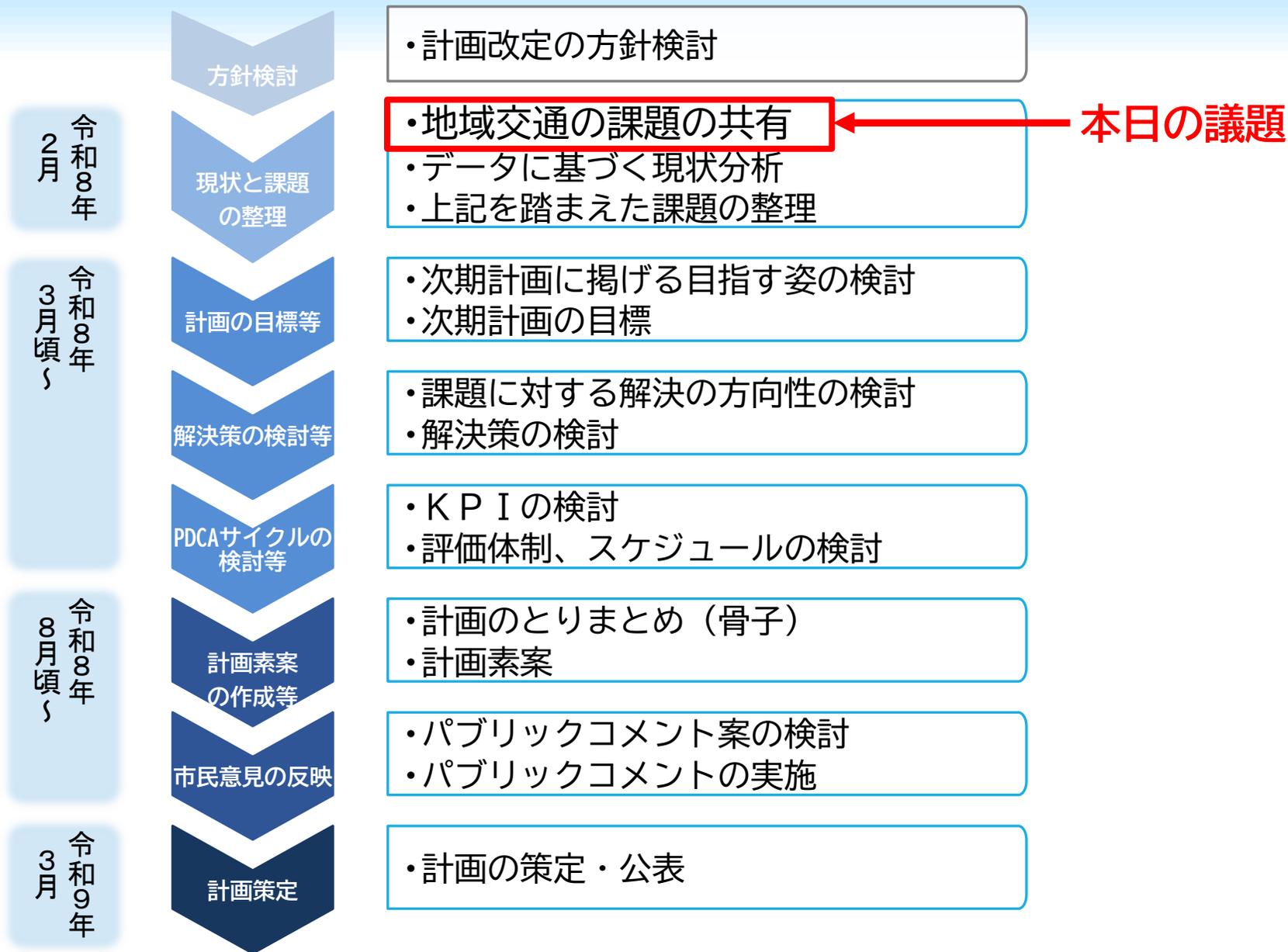
R6.3 市とバス事業者8社
による協定締結



R7.4 事務所を開設し
実質的な稼働開始



広島市地域公共交通計画の改定に係る実施フロー



「地域交通の課題の共有」について(本日の議題)

0. 計画の枠組みの検討

計画の枠組みを具体的に検討しましょう

- これから作成する計画の枠組みを作成することで、計画作成に関する検討(現状診断やKPIの設定)を効果的・効率的に進めることができます。
- ここでは、計画の枠組みを具体的に検討する上で有効な方法を紹介します。

☑ 情報を収集しましょう

地方運輸局・運輸支局や学識者への相談

- 計画のアップデートに取り組むにあたって、様々な地域の事例を把握している地方運輸局・運輸支局に相談してみましょう。
- 地域交通の課題解決に実績のある専門家(学識者等)に相談することも効果的です。

詳細はこちら  [ポータルサイト](#) [行政サービス](#) [計画・会議資料検索](#)

他地域の事例収集

- 地方運輸局・運輸支局や学識者の助言をもとに、参考とする地域の地域公共交通計画等を確認し、計画作成のストーリー構成や着眼点を検討しましょう。



国土交通省では、2025年度より、地域公共交通計画や法定協議会のアップデートを支援するため、ポータルサイト「MOBILITY UPDATE PORTAL」を公開します。情報収集する際にも活用してみましょう。

☑ 仮説を立てましょう (定性的に課題を把握する)

- 地域交通をとともに創る多様な関係者と対話する場を積極的に作り、移動・まちづくりの観点から現場で抱えるお困りごとをヒアリングすることで、定性的に課題を把握してみましょう。
- 形式問わず、気軽に話し合える「懇談会」や「茶話会」形式で進めることも一考です。

多様な関係者と勉強会・ワークショップを開催しそれぞれが抱える課題を定性的に把握

交通事業者	現場で抱える課題感の共有
庁内関係部局	地域交通につながる各政策分野の課題
共創関係者	取り入れてみたい新技術の提案
学識者(専門家)	戦略・マネジメント・コーディネート

プラスαの取組例

課題の把握にあたって、各々がデータを持ち寄り、一緒に地域交通の課題を捉えてみる
関係者で集まって、「自身が考える理想的な地域交通ネットワーク」について意見を交わし、実際に描いてみる

など

計画の骨格となる課題と対策の概要を整理
(これから作成する計画の現状診断を効率的に進めましょう)

☑ 地域の将来像を把握しましょう

- 幅広い政策分野に目を向け、地域社会が目指すべき未来の目標や姿を確認しましょう

政策分野	上位・関連計画【例】
包括	総合計画
まちづくり	都市計画マスタープラン、立地適正化計画
観光振興	観光基本計画、観光圏整備計画
商業	産業振興ビジョン、企業立地戦略
健康・医療・福祉	医療計画、地域福祉計画、バリアフリー基本構想
教育	教育振興基本計画、子ども・子育て支援事業計画
環境	環境基本計画

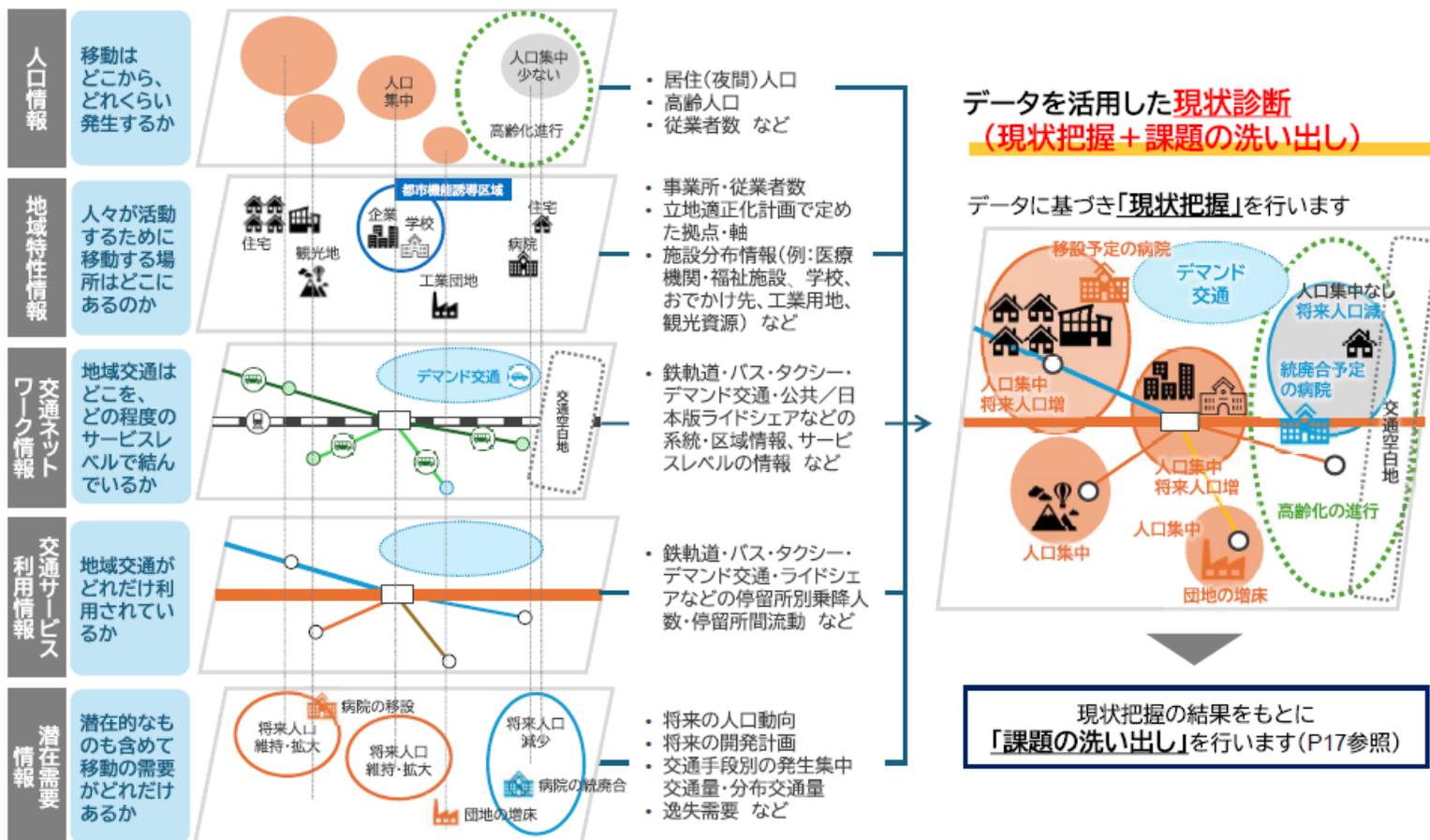
地域交通に求められる役割を整理
(地域交通が目指す姿の検討につなげましょう)

「データに基づく現状分析」について

1. 現状診断

モビリティデータを活用して現状診断を行いましょ

- 設定した計画の枠組みに基づいて現状診断を行っていきましょう。その際には、モビリティ・データを活用し、地域交通の課題や将来の見通しを可視化することが有効です。
- 現状把握にあたっては、①人口情報、②地域特性情報、③交通ネットワーク情報、④交通サービス利用情報、⑤潜在需要情報の5つの情報を重ね合わせることで確認しましょう。



課題の共有

■課題

都心からの直線距離が近いにもかかわらず、都心までの移動に時間を要する地域が存在しているのではないか。

課題の共有と現状分析のデモンストレーション(その1)

現状分析

情報の重ね合わせ

交通ネットワーク情報

×

地理情報

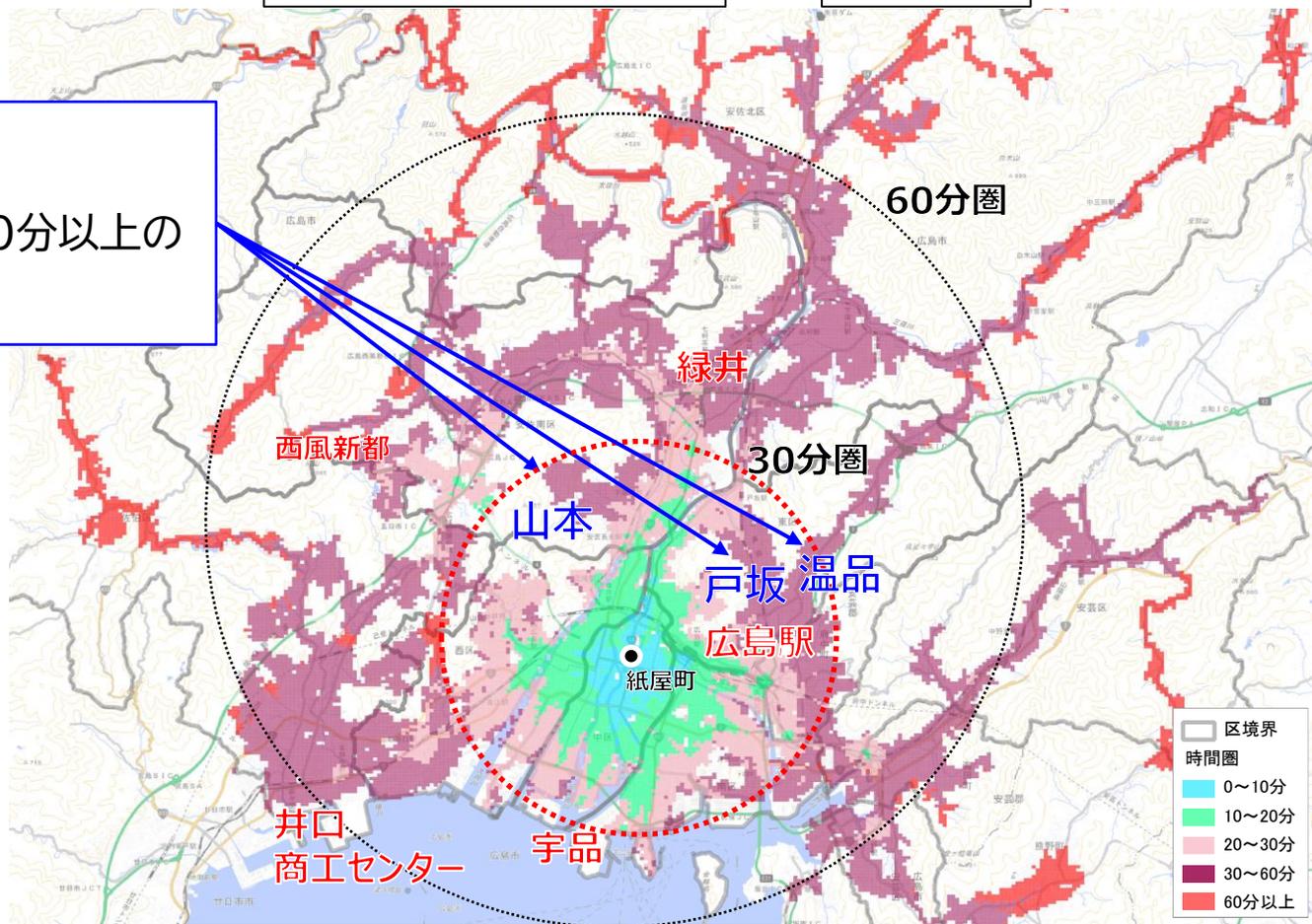
■課題をデータで見た結果

■山本、戸坂、温品

- ・比較的都心に近いが、都心まで30分以上の移動時間を要している。

■考えられる解決策

- ・急行バス路線の導入
- ・バス専用レーンの拡大
- ・路線再編



資料：GTFSデータ (R6.10時点)
※広島市全域の100mメッシュを図化

※バスのみ/鉄軌道系のみ/バス+バス/バス+鉄軌道系/バス+鉄軌道系+バスの時間圏

データ：紙屋町着の時間圏 (朝ピーク：7:30~8:59) (バス・鉄軌道系 乗換含)

課題の共有

■課題

出発地、目的地が同じであるにもかかわらず、時間帯によっては、目的地に到着するまでの時間に大きな差が生じている地域があるのではないか。

課題の共有と現状分析のデモンストレーション(その2)

現状分析

情報の重ね合わせ

交通ネットワーク情報

×

地域特性

×

地理情報

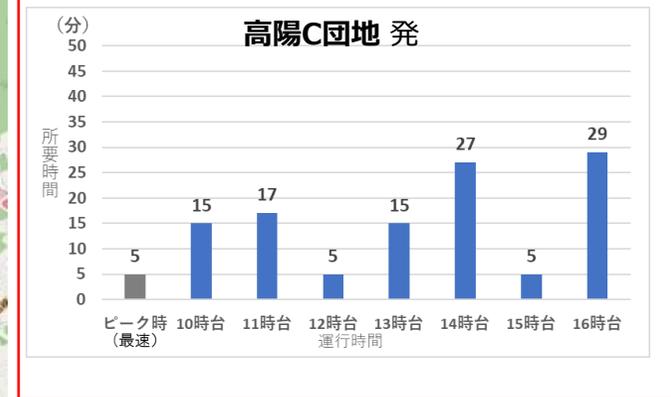
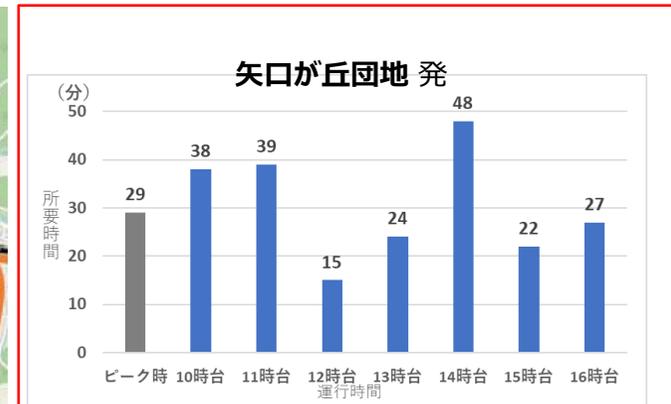
課題をデータで見た結果

■高陽

各団地から地域内の主要な買い物施設である「フジグラン高陽」に到着するまでの時間を比較。

- ・高陽地区においては、各団地と都心部を結ぶバス路線が多く、団地間を結ぶバス路線は少ない。
- ・矢口が丘団地や高陽C団地の場合、乗継の有無や乗車するバスの運行ルートにより、時間帯によって、到着するまでの時間に大きな差が生じている。

位置図・路線図



■考えられる解決策

- ・地域内循環バスの導入
- ・運行ダイヤの見直しによる乗継利便性の確保
- ・公共ライドシェアや地域主体の生活交通の導入

課題の共有

■課題

中山間地域において、公共交通による移動手段がなく(極めて少なく)、日常生活に支障が生じている地域があるのではないか。

課題の共有と現状分析のデモンストレーション(その3)

現状分析

情報の重ね合わせ

交通ネットワーク情報

×

地域特性

×

地理情報

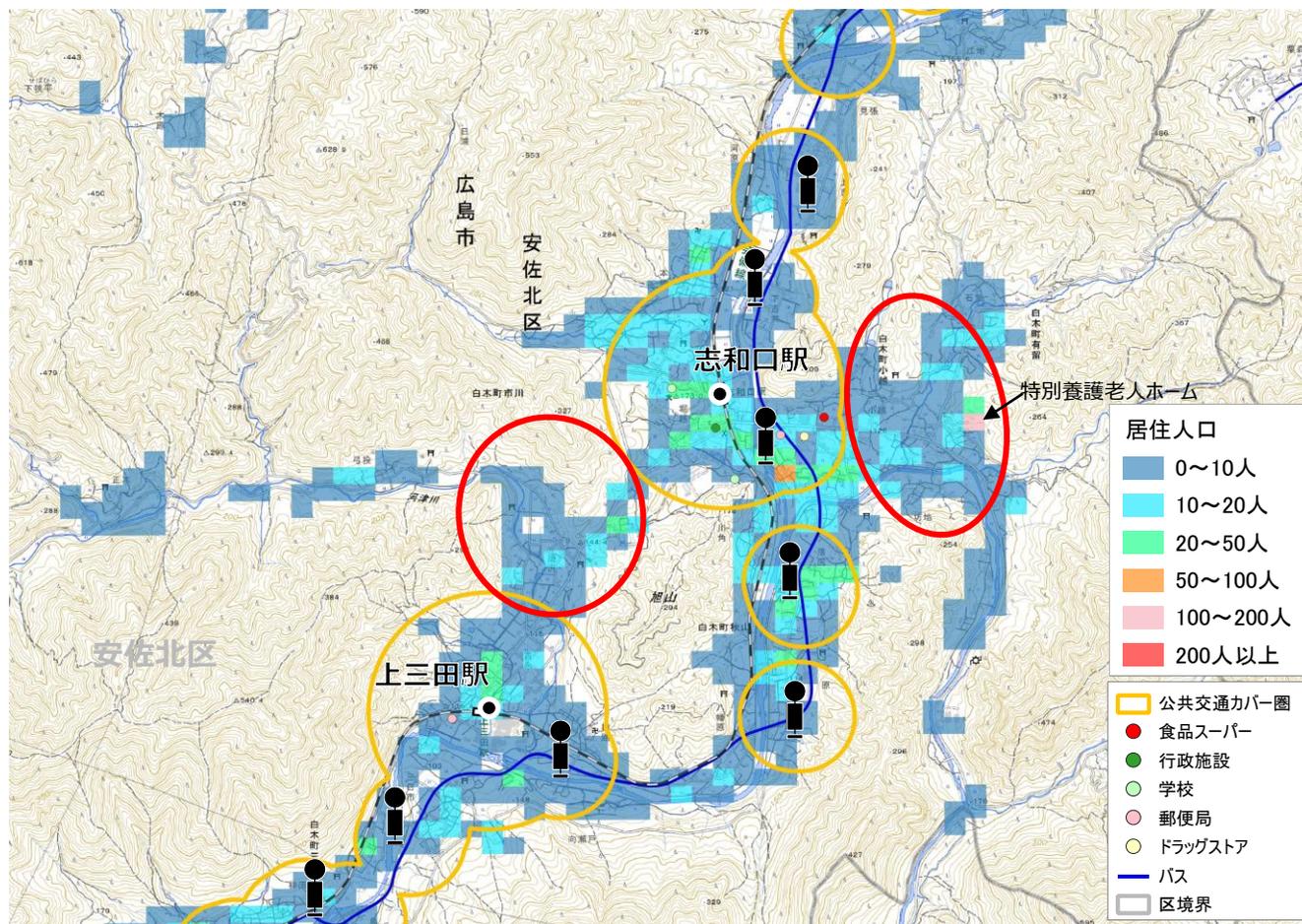
■課題をデータで見た結果

■白木

- ・居住エリアにもかかわらず、バス停や鉄道駅から離れており、公共交通を利用しにくい地域(公共交通カバー圏外)が存在している。

■考えられる解決策

- ・公共ライドシェアや地域主体の生活交通の導入
- ・地域の輸送資源の総動員



お知らせ(次回開催)

年度	広島市地域公共交通活性化協議会における計画改定に係る協議内容（予定）	
令和7年度	第25回（R7.8）	・ 計画改定の進め方
	第27回（R8.2）	・ 地域交通の課題の共有
	↑	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>意見照会（地域交通の課題）</u> ・ 課題の洗い出し（とりまとめ） ・ データに基づく現状分析 ➔ 課題の整理（案）
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者目線 ・ 事業者目線 ・ まちづくり目線
第28回（R8.3頃）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行計画の達成状況の評価・検証 ・ 課題の整理（案） ・ 次期計画に掲げる目指す姿（案） ・ 課題に対する解決の方向性（案） 	
令和8年度	第29回（R8.5頃）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 解決策の検討 ・ P D C A サイクル（KPI、評価体制、スケジュール）の検討
	第30回（R8.8頃）	・ 計画骨子
	第31回（R8.11頃）	・ 計画素案
	第32回（R9.3）	・ 計画改定

次回の
議題